

5/29

園児たちとのふれあいに笑顔 芋植え交流会を行う

芋 植え交流会が、養護老人ホーム幸生園の畑で、入江・本町保育所の園児29人が参加して行われました。

当日は、縦約10メートル×横約5メートルの畑に、種イモ約1000個を植えました。

引き続き、ふる里の丘総合福祉館内の地域交流スペースふれあい広場で、同園やケアハウスの入居者14人が参加して交流会が行われ、お年寄りたちは、園児たちの歌や手遊びの披露に目を細めていました。



芋植えを行う園児たち

5/26

三豊でトドマツ400本植樹 コープさっぽろ森づくり植樹祭

コープ未来（あした）の森づくり植樹祭（生活協同組合コープさっぽろ室蘭地区本部主催）が、三豊の町有林で行われ、会員約80人が参加し、環境保全活動に取り組みました。

当日は、トドマツ400本を植樹。

家族連れで登別市から来た女性らは「初めて参加した。結構大変だったけど気持ちよかった」と晴天の下での作業を楽しんでいました。



植樹を楽しむ参加者

6/4

平成30年春の叙勲 若木昭夫さん瑞宝単光章受章

平 成30年春の叙勲の伝達式が町長室で行われ、瑞宝単光章を受章した若木昭夫さん（元西胆振消防組合洞爺湖消防団副団長）に早苗保穂胆振総合振興局副局長から勲記と勲章が授与されました。

若木さんは「素晴らしい章をいただき感謝している。46年間消防団員として活動する中で、2度の噴火があり、避難所での物資の搬入や除灰活動が記憶に残っている」と当時を振り返りました。



瑞宝単光章を受章した若木さん

5/31・6/1

まちの歩道をきれいに 雑草除去ボランティア

本 町地区の主要幹線道路である国道37号の歩道を綺麗にしようと、沿線住民や地元企業、役場職員、延べ約100人が参加し、雑草除去作業を行いました。町を訪れる人に気持ちよく過ごしてもらい、イメージアップにもつながればと今回初めて実施。

2日間にわたり、出勤前の7時から2時間で、草取り用の鎌やスコップを使い、縁石の隙間や電柱の根元などに生えた雑草を取り除きました。



汗を流しながら雑草を除去する参加者たち

6/8

洞爺湖温泉に20種類の苗木植樹 「緑はどうなった？」授業

自 然への理解や防災意識をはぐくむことを目的とした「緑はどうなった？」授業が、小有珠川遊砂地周辺で実施されました。

洞爺湖温泉小学校の児童32人のほか行政関係者や砂防ボランティアなど総勢約50人が参加。児童たちは、トチノキ、ミズナラ、エゾヤマザクラなど20種類の苗木を合計60本、北海道科学技術大学岡村俊邦教授たちの指導を受けて、直径3センチほどのサークルに植樹しました。



協力して苗木を植樹する児童たち

6/6

洞爺湖町少年の主張大会 毛利さん（洞中）が最優秀賞受賞

平 成30年度洞爺湖町少年の主張大会（洞爺湖町青少年健全育成連絡協議会主催）が、虻田ふれ合いセンターで開催され、自らの意見を発表しました。

最優秀賞には、「命の給食」と題し、給食の持つ意味を訴えた毛利郁也さん（洞爺中3年）が受賞。その他の入賞者は次のとおり。

▽優秀賞 落合陽菜さん（虻中3年）・出村紗弥さん（同）▽優良賞 柳生琴梨さん（虻中2年）・佐藤ももさん（洞中3年）・坂本蒼司さん（同2年）



給食の意味を訴える毛利さん

6/17

若手農家8人による「えんプロジェクト」 軽トラで新鮮野菜販売「えんプロ市」

地 元の野菜を買う場所が少なくなる中で、地域の野菜を知ってもらおうとえんプロ市（軽トラ市）が虻田神社駐車場で行われました。主催は洞爺湖町と豊浦町の若手農家8人が昨年12月に設立した「えんプロジェクト」（小林裕司代表）。

軽トラの荷台に新鮮なレタスやイチゴ、花苗など24種類が並べられ、新鮮な野菜を求めて買い物が訪れていました。

今後は月1回程度の開催を予定し、次回は7月22日。



えんプロ市を開催した「えんプロジェクト」の皆さん

6/13

洞爺湖ロータリークラブ 洞爺湖温泉に桜の苗木10本植樹

洞 爺湖ロータリークラブ（新田裕基会長）は伊達信用金庫洞爺温泉支店横から有珠山に向かって伸びる町道の花壇升に、同会員10人が参加し、ヤマザクラとヤエザクラ各5本ずつ計10本植樹しました。

国際ロータリークラブの「各会員が少なくとも1本植樹しよう」という呼びかけに応えて、会員10人分の植樹を行いました。

新田会長は「昔の桜並木を復活させたい」と話しました。



雨の中植樹を行うロータリークラブ会員